

第39回公共施設等総合管理計画 策定推進本部	日時	令和4年9月13日(火) 9:16~9:30	場所	議場
出席者 (14人)	本部長：西岡市長 副本部長：小澤副市長、大熊教育長 天野企画財政部長、藤本庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、柿崎環境部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、大津学校教育部長、梅原生涯学習部長、北村議会事務局長			
欠席者 (2人)	西田市民部長、若藤都市整備部長			
事務局	後藤公共施設マネジメント推進担当課長、郷古企画政策課主査			
議題	1 庁舎等複合施設建設に伴う跡地活用に関する市民アンケートの実施について			
資料	1 庁舎等複合施設建設に伴う跡地活用に係る市民アンケートの実施について			
(進行：西岡市長)				
【議題1】 庁舎等複合施設建設に伴う跡地活用に関する市民アンケートの実施について				
(本件については、事務局が説明を行った。)				
<p>○ 庁舎等複合施設建設に伴う跡地等活用庁内方針の策定に係る庁内方針検討支援委託について、公募型プロポーザル方式による事業者の選定を行い、株式会社URリンクージと契約を締結した。</p> <p>○ 庁舎等複合施設建設に伴う跡地活用庁内方針の検討及び作成にあたり、市民ニーズの把握、今後実施予定の民間事業者へのヒアリングや事業パターン等の検討のために市民アンケートを実施する。 アンケートの対象は令和4年9月1日現在、16歳以上の市民を対象に住民基本台帳から無作為抽出した2,000人とする。 アンケートは9月22日(木)に発送予定であり、回答期限は10月11日(火)までの概ね2週間の期間とする。 アンケートの設問は、最初に年齢、世帯構成など回答者の属性に関する設問、次に跡地活用に関する全体的な考え方に関する設問、最後に各対象地の活用方法のイメージ等に関する設問を設定している。 アンケートには、別途説明資料を同封する。 アンケートの回答方法は返信封筒による郵送回答の他、二次元コードを活用したインターネットでの回答のいずれかで回答をしていただく。 周知については、市報9月15日号、市HP、Twitterで周知を図る。</p>				
【関連質疑】				
<p>○ 市民アンケートの回収率はどのくらいを見込んでいるのか。 → 回収率の見込みは、他の計画等で実施しているアンケートの回収率を参考に概ね30%から40%と見込んでいる。</p> <p>○ 現状、跡地活用の検討については、まっさらの状態か。 また、アンケートについて民間事業者のヒアリングに活用するとのことであるが、具体的に説明してほしい。 → 現状、まっさらの状態を検討する。公共施設として活用する場合、民間事業者に貸し付ける場合、民間事業者に売却する場合など、様々な活用の方策の検討が必要と考えている。 今後の検討にあたっては市民サービスの向上、財政の寄与を評価軸として、事業パターン等を検討していきたい。 民間事業者のヒアリングについては、事業者が考える活用方法を漠然と提案してもらった内容ではなく、市民アンケート、庁内調査の結果を踏まえた市の課題等を示した上で、「事業者が考える活用イメージ」と、「市の要望・課題に対する事業化の可能性」をヒアリングで確認していきたいと考える。 庁内調査については、8月末を回答期限として、庁内の利用意向調査を実施している。</p> <p>○ 対象地について跡地、敷地と文言を使い分けているが、どのような使い分けをしているのか。 → 跡地については、検討において建物は除外することを想定している。敷地については、建物と土地の活用を検討することを想定している。</p>				

- 敷地、跡地の関係については、文言について何か注釈を入れる等の対応を行うべきである。
→ 敷地、跡地の文言の使い分けについては、市HPにて補足説明を行いたい。
- 現状まっさらで検討するとのことだが、庁内調査の結果、市民アンケートの結果が一致しないことが想定されるが、そのような意見をどのようにとりまとめていくのか。かなり難しいかと思うが。
本来、市としてこのような考え方をもっているということを市民に示した上で、市民アンケートを行い、その意向を確認して、それをマッチングして事業化していくべきではないか。
また、アンケートの項目について、どのような意図でこのような設定をしたのか、アンケートの意図が分かりづらいので、今後周知等を行っていく際は、アンケートの目的などを説明すべきかと思う。
→ 庁内調査、市民アンケートの結果をどのように整理してまとめていくかについては、市民アンケート、庁内調査、民間事業者からのヒアリング、これらの結果を踏まえて、市民サービスの向上、財政の寄与、この2つの評価軸を用いて比較考慮し検討を行っていきたいと考えている。
また、市の考え方を示し、市民アンケートを実施すべきではないかという意見については、今回の跡地活用については公共施設等の多機能化や複合化、公民連携等の可能性も検討を行っていきたいと考えており、市民からの意見についても幅広い視点でご意見をいただきたいという考えから今回のタイミングで行いたいと考えている。
庁内調査については、回答内容の訂正等の関係で、まだ回答が揃っていない。
アンケートの設問については、検討対象地におけるまちのイメージを回答し、必要な機能を回答していただく流れをつくることで、市民があってほしいまちのイメージとその為の機能を把握していききたいという意図で設問設定をしている。現状は大きな視点で検討を行い、詳細な機能については、来年度意向、改めて市民参加を行うことを考えている。
まちづくりのイメージとしては、市の都市計画マスタープランの中でエリア毎の方針を示しているの
で、前段で、都市計画マスタープランの考えを示した上で、アンケートに回答していただくようにしている。
今後の検討の詳細については、受託事業者とアンケート結果等を踏まえ詰めていく。

— 以上で、会議終了 —